

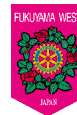
2023-24 年度  
福山西ロータリークラブ

# 例会情報

第 1569 回 (36)

会 長 瀬 尾 義 裕      幹 事 黒 木 成 光

クラブ会長テーマ



「次世代に希望を繋ごう！～手を取り合って～」

日 時	2024 年 5 月 14 日 (火) 12:30 ~
場 所	福山ニューキャッスルホテル 他
例会行事	点 鐘 ・ ソング 「君が代・奉仕の理想」 ゲスト・ビジターの紹介 (出席報告参照) 会 長 報 告 幹 事 報 告 出 席 報 告 S A A 報 告 ス マ イ ル 報 告 プ ロ グ ラ ム 情 報 そ の 他 報 告
その他情報	メークアップ情報 (来週分) メークアップ情報 (再来週分) 今後の行事予定 クラブ活動報告



世界に希望を生み出そう

## 【 会 長 報 告 】

本日のプログラムは地区研修のご報告となっておりますが、先日来のクラブ協議会においても次年度に向けた活動計画が最終調整されています。次年度は一層充実した活動になる見込みですので楽しみにして頂きたいと思えます。

さて、今月は国際ロータリー理事会が定める特別月間である「青少年奉仕月間」です。ロータリーにおける青少年奉仕活動の経緯は以下のとおりです。

1916年：ロータリー連合会が青少年活動委員会設立。

1927年：四大奉仕部門を承認。

1974年：青少年交換プログラム始まる。

1996年：「青少年活動月間」を「新世代のための月間」と改称。

2010年：「新世代奉仕」が加わり五大奉仕となる。

2013年：「新世代奉仕」を「青少年奉仕」と改称。

現在のロータリーは五大奉仕部門を掲げていますが、標準クラブ定款によれば、順に、クラブ奉仕（クラブ本来の機能を充実させる）、職業奉仕（ロータリー理念に従って自身を律し、事業の道徳的水準を高め、職業に携わる中で奉仕の理念を実践していく。専門職としての地研を社会のニーズに役立てる）、社会奉仕（地域社会における積極的平和を目指し、地域社会に居住する人びとの生活の質を高める）、国際奉仕（他国の人びとの文化や生活に関する認識を培い、国際理解、親善、平和を推進する）、青少年（指導力養成活動、社会奉仕プロジェクトおよび国際奉仕プロジェクトへの参加、また、積極的世界平和と異文化の理解を深めはぐくむ交換プログラムを通じて、青少年並びに若者によって好ましい変化をもたらされることを認識するものである）とされています。

ここで、青少年奉仕活動を理解し、振り返るために、青少年奉仕の基本方針（ロータリー章典）をご紹介します。国際ロータリーの第五奉仕部門である青少年奉仕は、ロータリーが若い世代を重視していることを表しています。それは、私たちがロータリアンとして、青少年への奉仕、青少年の将来に対する奉仕、さらに人類全体への奉仕を実行することです。具体的には、他の奉仕部門において青少年に対するプログラムやプロジェクトを組み合わせることで、クラブや地区はより強いアプローチでこの価値ある活動に関与することができます。

青少年奉仕には具体的に以下が含まれます。

- (1) 青少年の間での高い倫理基準及び倫理的な意思決定を奨励する。
- (2) 青少年のニーズや願望や関心を理解し、認識する。
- (3) 青少年に機会を提供する。
- (4) 国際ロータリーが提供する人道的、指導力養成、教育関連のプログラムへの青少年の参加を奨励する。

続いて、ロータリーの新世代奉仕プログラムのビジョン及び理念(ロータリー章典)をご紹介します。ロータリーの新世代プログラムは未来への投資です。ロータリーの新世代奉仕プログラムを通じて、ロータリアンは、ロータリーの理念や伝統を次世代の若者たちと共有することができます。共有するべきロータリーの理念や伝統には次の各項目が含まれます。

ロータリー家族内での友情

地域社会および国際社会への奉仕

世界平和の基盤を創る、全ての人々や文化、生き方への理解。

全ての価値ある職業への敬意

倫理的な意思決定の指針としての四つのテスト

最後に、青少年のための主な奉仕プログラム（ロータリー章典）をお伝えします。

インターアクト：12歳から18歳までの青少年のための国際ロータリーの奉仕クラブで、支援や指導を与えるロータリークラブが提唱し、1つまたは複数の学校から結成されます。

ローターアクトクラブ：18歳以上の青年男女のため、ロータリーが提唱する奉仕クラブです。ローターアクトクラブは通常、地域社会または大学を基盤としており、地元のロータリークラブが提唱しています。

ロータリー青少年指導者養成プログラム（RYLA）：14～30歳の若者が集まり、リーダーシップ、スキル、人格を養いながら、ロータリーについて学ぶ集中研修プログラムです。RYLAはセミナー、キャンプ、ワークショップ等の形式が多く、通常、期間は3～10日間で、ロータリアンによる主催の下、クラブ、地区、多地区合同のいずれかで行われます。

【その他】

ロータリー青少年交換

ロータリー平和フェローシップ（奨学金）

グローバル補助金奨学生

職業研修チーム（メンバーまたはリーダー）

地区補助金奨学生

青少年奉仕交換

以上のとおり、本日は入会歴の浅い会員の方を前提として、青少年奉仕活動の歴史や目的について振り返ってみました。お時間の関係で個別具体的な活動を掘り下げることが出来ませんでした。お時間のある際、各自で学習されるようお願いいたします。

# 【プログラム情報】

## 《 地区研修・協議会報告 》



### 【会長・幹事部門・・・鹿内 要秀】

分科会のテーマは「クラブの活性化、会員増強の取り組みについて」  
講演は滝澤功治氏による「クラブを元気にしよう」でした。

結論から言うと社会には様々な問題があり、その問題を何とかしたいと思  
った人がロータリーに入ってくるのだから、ロータリークラブは会員の思  
いを受け止めて満足する奉仕をしなければいけないということでした。

そのためには各会員が何を考えているのか知ることが重要です。例会の時  
間は限られていますから、居心地が良く効率の良い例会にしなければなり

ません。また、例会以外でも会員同士が胸襟を開いて話し合える場を設けることも必要です。

良い奉仕を行うためには会員同士の良好な親睦関係が欠かせません。

クラブを通して行われるあらゆる親睦の取り組みが会員の満足度を向上させてそれが会員増強と退会  
防止にもつながっていきます。

以上のような内容の講演でした。

それをふまえて、次年度は価値ある奉仕の実践、有意義な例会の実施、楽しい親睦行事の開催などで  
充実したロータリーライフを目指します。



### 【会長・幹事部門・・・吉山 聡】

入会三年以内の人のいろんな意見を聞いてみた。クラブを魅力的にするには  
どうすればいいか？入会したがロータリーの事が分からない、先輩に聞いても  
みんなバラバラ、座る席が毎回一緒に他の会員さんと交流ができない、新入会  
員が入ったけど話ができない。様々な意見が出てきました。

私達のロータリーの不都合な真実で、女性会員比率が低い、会員層が相対的に  
高齢化している、ガバナーなどの役員に就任する年齢が高止まりしている、そ

ういった問題点をかかげる中でそこを何とかしていっているのが現状です。

あなたのクラブが直面している大きな課題は何ですか？ということですが、

- 1 活動のマンネリ化
- 2 ネット対策が不十分
- 3 会員のロータリーの研修不足
- 4 公共イメージ・認知度の低さ
- 5 ビジョン・戦略計画なし

マンネリ化やネット対応不十分といった項目が上位を占めています。その意味でのクラブの活性化は必  
要です。また研修不足や公共イメージの向上クラブ運営についての問題意識もたかいですという事です。

DEI をどのように理解するか。

なぜ DEI を言い続けるのか。

私のクラブでどのようにして DEI を推進するかどのように取り組めばいいか？

多様でインクルーシブなクラブとなることの重要性とメリットについてクラブ内で話し合い、多様な会員が集まるクラブの調査を用いて、会員基盤の多様性とインクルージョンを推進する計画を立てる。

多様性、公平さ、インクルージョンに詳しい地元の専門家を例会に招き、卓話をしてもらう。

DEI の取り組みを支援する団体とつながり、プロジェクトやイベントを共同で行う。

役割を任命する際には新しい人を起用し、こうした役職に含まれることの少ない人（若い人、会員歴の短い人、学友など）にリーダー職を勧める。

多様性、公平さ、インクルージョンについて対話する。このような対話は気まずさやプライベートな事柄をとまなう場合があることを認めることが重要です。全員が学び、耳を傾けられるように、お互いに敬意を払わなければならないという事を伝えなければならないという事を伝えなければならない DEI 委員長を任命する、または協調的な学習、共有、奉仕の機会を設けることを担当する DEI 委員長をクラブに設置する。

色々な話が出ましたが最終的にはボランティア精神でがんばろうと思います。



### 【クラブ管理運営部門・・・塩川 裕樹】

4月23日（日）、広島国際会議場で開催されました「2024-25年度地区研修・協議会」のクラブ管理運営部門の分科会に出席しました。分科会では、カウンセラーの石川良興パストガバナーの講演と、第52回ロータリー研究会でDEIをテーマにしたパネルディスカッションのビデオを視聴しました。

今回の地区・研修協議会は本当にDEIの推進の話が非常多かったです。そこで皆さんに質問です。

DEIをご存じな方 挙手をお願いします。

実は私も何のことか良くわかりませんでした。

DEI とは

D ダイバーシティ（Diversity）とは、直訳で「多様性」を意味する言葉です。

人種・年齢・性別・能力・価値観などさまざまな違いを持った人々が組織や集団において共存している状態を示し、国際的に重要視されています。

E エクスクルージョン（Exclusion）

直訳すると除外排除 を意味する言葉です。

I インクルージョン（Inclusion）は直訳で、「包括・包含・一体性」という意味です。

そこで日本のロータリー及び2710地区ではクラブがより良くなるために変化しロータリーの強さを維持出来る様にするための手段の一つとして

D（誰もが）

E（笑顔で）



I（言い心地の良い）そして「DEIの推進をしよう」となります。

この背景にはRIは先進国で会員減少が止まらないという現状に強い危機感があります。聞くとところによると昨年1年間で英国で20% 米国で10% 日本では7%の会員減少というさんたんたる状態です。なにが言いたいかという結論は今までの規定概念に捕らわれずクラブを変える、会員が変わる、そして会員増強をするという方針です。

しかし変えてはいけないものがあります。それはロータリーの中核的価値感です。

ロータリーの中核的価値観は、奉仕(Service)、親睦(Fellowship)、多様性(Diversity)、高潔性(Integrity)、リーダーシップ(Leadership)です。

そして「四つのテスト」です。

そしてロータリーで良く使われる不易流行という考え方は、

いつまでも変化しない本質的なものを忘れない中にも、新しく変化を重ねているものをも取り入れていくこと。また、新味を求めて変化を重ねていく流行性こそが不易の本質であり理念です。

すなわち変えていいもの 変えてはいけないものを理解すること。

そして会員増強だけが目的ではありません。あくまでもクラブ活性化の手段であることを理解しないとダメといけません。

と とあるパストガバナーがおっしゃっていました。私もこの考え方に賛成で大拍手です。



#### 【会員増強部門・・・奥野 充喜】

会員増強部門の協議会に出席してきました。

会員増強部門では各クラブ会員増強員会からのアンケートの集計結果を元に各テーブルごとにグループ討論を行い、意見やクラブの現状などの討論を行いました。

アンケート結果で他ロータリークラブでの取り組みなどで面白いものを何点かピックアップします。

#### 【会員入会促進】

- ・ 夜間例会でオープン例会を年間2回実施
- ・ 会員全員で情報を出し合い、理事会で検討し、入会のお願いに同う
- ・ 期首の例会で候補者をリストアップし、4月に候補者を集めてオープン例会を開催
- ・ 衛星クラブ創立を検討

#### 【退会防止】

- ・ 同好会を開催に、親睦を深める
- ・ 会員が例会時に孤立しないように気を付けている
- ・ 誕生日会を開催し、親睦を深めている

#### 【女性会員増強】

- ・ 女性会を開催に親睦を深めている
- ・ 同好会（カラオケ、ヨガ）など

【会員3年未満の会員を対象とした研修】

- ・入会后3カ月以内にロータリークラブについての研修をおこなっている
- ・毎回例会で「3分間情報」をロータリー情報委員会が担当

その他に衛星クラブの設立も推奨されていました。

衛星クラブは8人の会員で結成が可能であり、既存のロータリークラブとは異なる環境（例会時間・会場・形式など）で社会奉仕できるチャンスを地域の人々やロータリアンに提供します。衛星クラブの会員も、ロータリアンとみなされ、正式にはスポンサークラブの会員となるとの事なので、比較的参加しやすい環境の衛星クラブ会員を増やすことで、結果的にロータリークラブ会員数を増加させることに繋がるとの事です。

2710 地区にはまだ衛星クラブの創立はないものの、全国的には増加しているとのことです。



【奉仕プロジェクト①部門 職業奉仕・・・平田 恭彬】

○基本方針

地区奉仕プロジェクト委員会は 2024-25 年度 RI 会長ステファニー・A アーチック氏のテーマ

「The Magic Of Rotary (ロータリーのマジック)」上田ガバナーエレクトの信条「行動しよう、未来のために。＝変革に取り組もう＝」を受け、地区として奉仕の実践に取り組む。

各クラブの職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕委員会の事業が、この両テーマに沿って円滑に実現されるよう、連携を図りサポートする。

○分科会テーマ

各クラブに奉仕活動の現況をアンケートにとりまとめ、職業、社会、国際奉仕に関し各々の事例を発表して頂き、次年度の奉仕活動の参考にしていきたい。

職業奉仕プロジェクト事例紹介で、広島安芸 RC の藤岡 佳子会員から「広島安芸 RC 似島学園支援奉仕事業」のプレゼンテーションが行われました。

似島学園は、2歳から18歳まで約110人の子供たちが共同生活をしている児童養護施設。

広島安芸 RC30周年事業として、空調設備の寄贈・スポーツ用品の寄贈、野球指導。高校生に工場見学の機会提供をした事柄を紹介された。

※井内ガバナーからの総評

広島安芸 RC から職業奉仕事業の紹介をしてもらったが少し違和感があった。

どちらかというと社会奉仕事業に近いのではないか。

社会奉仕と職業奉仕はどう違うのか井内ガバナーより総評の中で思いを述べられ、色々な奉仕活動をした経験から、「社会奉仕は、人の為・人が喜ぶこと、そういうことが社会奉仕」で、

「職業奉仕は、自分が喜ぶ」ことです。

喜ぶという意味は、ロータリーは奉仕の心を育むことが目標であり、「自分の心に気持ちの中に、奉仕をする喜びが湧き出るような活動が本当の意味での職業奉仕ではないかと思う。ロータリアン一人一人が自分の仕事で奉仕する喜びを感じる事が大事ではないか」と評された。

次年度地区ラーニングファシリテーター（従来の研修リーダー）脇 正典 氏からは、「ロータリーは奉仕団体ではない、ロータリーは職業奉仕団体である」「各自の天職＝天から与えられた職業で、職業を通じて社会に奉仕していきましょう！」と結ばれた。以上、簡単ではありますが職業奉仕の分科会の報告とさせていただきます。



### 【奉仕プロジェクト①部門 社会奉仕・・・能登 伸一】

- 他クラブの社会奉仕活動報告
  - ・ 広島南 RC=環境問題を小中学校で出前授業を RPG 形式で実施
  - ・ 広島安芸 RC=似島学園(ルンビニ園と同じ施設)と交流
  - ・ 他クラブの環境問題への活動=  
74 クラブ中 18 クラブが清掃活動  
出前授業=下関中央、竹原、福山でも実施  
呉東で「KENYAKU」運動=節水、便乗、などを奨励
- その他
  - ・ 大きな事業（補助金活用）はクラブ全体のコンセンサスを得て皆で取り組むことが肝要であること
  - ・ 印象的だった一言 井内ガバナー「社会奉仕は社会の為に、職業奉仕は自社の為に（結果として世の為、人の為の奉仕となる）」
- この研修会に参加して
  - ・ 鹿内エレクトの方針にもあるように環境保全に関連した奉仕活動を行う
  - ・ 守るべきことは守り変革、改革すべきことは勇気をもって断行します



### 【奉仕プロジェクト①部門 国際奉仕・・・梶原 啓子】

4月21日(日)広島国際会議場にて参加いたしました。RI 会長テーマ「「ロータリーのマジック」のもと次年度の活動について報告や方針が発表されました。私は奉仕プロジェクト1の分科会に参加いたしました。

職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕について3RC から事例報告がされました。国際奉仕についての事例報告は、西条 RC が「タイ山岳民族家庭崩壊児童施設への支援活動」でした。クラブのメンバーが15人の里親になって学費の支援をされています。

1. 2016年から毎年15万円の支援
2. 日本語ができる交流 3年間で300言語が覚える？
3. 地区補助金を使って
  - パソコン、スーパーカブ、耕運機の寄贈
  - 通学用トラックの幌の整備
  - 最近ナマズ養殖PJ着工

これから当 RC が進めようとしていることに近いのかなと思います。

現地で必要としていること、困っていること、もっと生活しやすくなることをしっかりリサーチして、今後につなげていけると少し自信ができました。

福山西クラブの次年度国際奉仕活動が実りあるものになるよう頑張りますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。





【ロータリー財団部門・・・松井 宣久】

合同本会議の後、分科会はロータリー財団部門に参加しました。

分科会

地区委員会の次年度の基本方針は

「ロータリー財団の使命に沿った地区補助金、7つ重点分野を支援するグローバル補助金など、補助金を立案実施するクラブをサポートし、クラブの活性化とロータリー財団への理解を深める」活動をされるそうです。

・各種寄付目標達成活動の展開

年次基金	150ドル/1名 以上
ベネファクター（恒久基金）増員推進	1名以上/クラブ
ポリオプラス基金	30ドル/1名 以上

- ・地区補助金・グローバル補助金の活用促進
- ・財団ニュースの各クラブ内での配信促進
- ・ポリオプラス・ソサエティ、ポール・ハリス・ソサエティの認知拡大

次第

1. 開会
2. 挨拶・現況報告
3. ロータリーカードについて
4. 地区補助金活動報告
5. 地区補助金・グローバル補助金について
6. 地区補助金奨学生ビデオレター
7. グローバル補助金奨学生ビデオレター
8. 2024-25年度奨学生 紹介
9. 地区補助金・グローバル補助金クイズ
10. カウンセラー講評
11. 閉会



【米山記念奨学会部門・・・黒木 成光】

4月21日(日)に広島市の国際会議場にて地区研修・協議会が行われました。

この度はロータリー米山奨学会への研修員とし、参加をして来ました。

まず、初めに申しますがこの米山奨学会とはロータリークラブに入会をしてから一番、関心がありませんでした。

講習が始まると、映像で米山梅吉とは？から入りまして、簡単に生い立ちと設立された三井信託銀行の事などが流れました。

米山梅吉氏とは？勉強会が始まるまで、全く興味も関心もありませんでしたが、この方は実は日本で初のロータリークラブ、東京RCを設立された方です。

私財を投じて現青山学院初等部を設立され教育に献身し、また晩年は三井報恩会を通じて社会・文化事業を支援したそうです。

その後、1952年東京RCで古澤丈作会長によって米山梅吉氏の生前の功績を称えられ、「米山基金」が始まります。

米山基金とは？簡単に言いますと日本のロータリー全地区による国際奉仕事業です。

日本で学ぶ外国人留学生に奨学金を支給し、支援する事で日本と世界との平和の架け橋になる人材を育てています。

奨学生が決まるまでの年間カレンダーは、まず、奨学会で地区割当数を決めることから始まります。その後地区で指定校と推薦者数を決め、募集スタートとなります。奨学会で申し込みを募り、書類選考・面接試験選考をいたします。その後、合格発表を各学校に通知して、世話クラブカウンセラーとの面談があり、厳正なる審査後に正式な米山奨学生になれます。

米山奨学生は毎年全国に約900人もおられ、アジア、北・南アメリカ、ヨーロッパ、アフリカ、大洋州といった国々から日本へ留学されて来ます。博士・修士・学部・クラブ支援・その他といった分類された生徒に米山学友から、寄付金が送られます。各課程によって金額や寄付金の受け取る年数も違ってきます。

その学友会から寄付金を受けられた、優秀な学生たちは全国各地のRCを通じて様々な活動をされています。また卒業後には米山学友から今までに300人近い方が、ロータリアンとして世界で活躍をしていると聞きました。

新会員の皆様に、この米山記念奨学会とは「何ぞやと」、簡単に説明をさせて頂きました。

要するにこの奨学会の、財源は皆様の寄付金で成り立っているため、一般の奨学金とは違い寄付金で運営をされています。寄付金が減ればこの事業は継続が出来ないと教わりました。今年も全会員の温かい寄付金のご理解をよろしくお願い致します。

## 【その他報告】

特にありません。

## 【クラブ活動報告】

特にありません。



世界に希望を生み出そう